

平成 23 年 4 月 22 日

アライアンス・バーンスタイン株式会社

## 「R&I ファンド大賞 2011」受賞のお知らせ

このたび、株式会社格付投資情報センター主催の「R&I ファンド大賞 2011」において、以下のとおり、最優秀ファンド賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

- 【部門】**                    外国債券部門
- 【ファンド名】**            アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ハイ・インカム・オープン  
A(為替ヘッジなし)
- (愛称: NK・コンパス<羅針盤>)

### 「R&I ファンド大賞 2011」の概要について

「投資信託」、「投資信託／総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金」は『R&I ユニバース計測サービス』に登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。今年度について、「投資信託」は国内株式型、国内中小型株式型、国内債券型、外国株式型、外国債券型、国内REIT型、外国REIT型、中国関連株式型、インド株式型、エマージング株式マルチカントリー型、エマージング債券型、国内SRIファンド型の各カテゴリーを、「確定拠出年金」は国内株式型、国内債券型、外国株式型、外国債券型の各カテゴリーを、「投資信託／総合部門」は国内株式総合、外国株式総合、外国債券総合、バランス総合の各カテゴリーを、「確定給付年金」は国内株式コア型、国内株式グロース型、国内株式バリュー型、国内中小型株式型、国内債券型、外国株式型、外国債券型、外国株式エマージング型、外国債券エマージング型、国内株式マーケットニュートラル型の各カテゴリーを対象とする。

選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「確定給付年金」では2009、2010、2011年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2011年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」では"シャープ・レシオ"を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定日まで1年以上の期間を有し、残高が10億円以上かつカテゴリー内で上位75%以上の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では原則として定量評価に"インフォメーション・レシオ"を採用、定量評価がプラスのファンドを表彰対象としている。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」では上位1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託／総合部門」では、2011年3月末において残高10億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間における"シャープ・レシオ"の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位1社を「最優秀賞」、次位1社を「優秀賞」として表彰している。

上記の記載内容は R&I が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。「R&I ファンド大賞」は、過去のデータに基づいたものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、投資の参考となる情報を提供することのみを目的としており、投資家に当該ファンドの購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、R&I の顧客に対して提供している定性評価情報とは関係ありません。当大賞は信頼すべき情報に基づいて R&I が算出したものであり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されていません。当大賞は、信用格付行為に関わるものではなく、R&I の行う信用格付行為に影響を及ぼすものではありません。当大賞に関する著作権その他の権利は、R&I に帰属します。R&I の許諾無く、これらの情報を使用（複製、改変、送信、頒布、切除を含む）することを禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーについては、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、必ずしも受賞運用会社の全ての個別ファンドそれぞれについて運用実績が優れていることを示すものではありません。投信の基準価額等は QUICK 調べ。

## 投資リスクについて

当ファンドは、主として公社債などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。

### 基準価額の変動要因

#### 【金利リスク】

一般に債券価格は金利上昇時に下落、低下時に上昇し、変動リスクは長期債ほど大きくなります。

#### 【信用リスク】

発行国や発行体の債務返済能力、業績・財務内容、格付け、市場環境の変化等により、債券価格は大きく変動することがあります。デフォルト（債務不履行）が生じると債券価格は大きく下落し、機動的に売買できないこともあります。格付けの高い債権に比較して、高利回り社債や新興諸国の債券はデフォルトの恐れが高いと考えられます。

また、金融商品等の取引相手方にデフォルトが生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

#### 【カントリー・リスク】

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。一般に新興国市場は、市場規模、法制度、インフラなどが限定的なこと、価格変動性が大きいこと、決済の効率性が低いことなどから、リスクが高くなります。

#### 【流動性リスク】

市場規模や取引量が限られる場合などに、機動的に金融商品等の取引ができない可能性があり、結果として損失を被るリスクがあります。

#### 【アセット・バック証券への投資に伴うリスク】

アセット・バック証券は、元本の一部の満期前償還によっても価格が変動することがあります。

#### 【為替変動リスク】

外貨建資産に対し原則として為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

### その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

### お客様にご負担いただく費用

お客様には下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。

#### 投資者が直接的に負担する費用

##### 購入時手数料

###### ■購入時にご負担いただく場合

購入価額と購入口数を乗じて得た金額に、販売会社が別に定める購入時手数料率(2.1%(税抜2.0%)を上限とします。)を乗じて得た額とします。

収益分配金の再投資およびスイッチングにより購入する場合は、無手数料となります。

###### ■購入後にご負担いただく場合

購入時は無手数料とします。ただし、購入後、決算時に収益分配金から、「後取り手数料」としてご負担いただきます。スイッチングにより購入するファンドの「後取り手数料」は、換金するファンドの決算期数20回の残回数分となります。

「後取り手数料」とは

- ・決算期数20回にわたり、決算時に収益分配金から控除します。
- ・各決算時にご負担いただく当該手数料は、決算時における各受益者の保有額\*1に、0.105%(税抜0.1%)を上限とする販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額となります。
- ・控除回数は20回です。したがって、21回目以降の決算時には当該手数料は発生しません。
- ・当該手数料の控除回数が20回に達する前にご換金された場合には、換金金額\*2に(販売会社が定める手数料率×20回に満たない不足回数)を乗じて得た金額を一括してご負担いただきます。

\*1 決算日の基準価額×保有口数÷10,000

\*2 換金時の基準価額または買取価額×換金口数÷10,000

※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

##### 信託財産留保額

ありません。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

##### 運用管理費用(信託報酬)

純資産総額に対して年1.6275%(税抜年1.55%)の率を乗じて得た額とします。

##### その他の費用・手数料

監査報酬/信託事務の処理に要する諸費用/金融商品等の売買時の売買委託手数料/外貨建資産の保管等に要する費用/信託財産に関する租税等

※投資者の皆様の保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。